

# 文連ニュース

No. 16  
2023年1月24日

発行／飯塚文化連盟  
〒820-0041 飯塚市飯塚14-67  
TEL0948-22-3274(コミセン4F)



## 寿 2023年 新春 —— 復活の年 ——



飯塚文化連盟 会長 紙野美寿江

2023年も残念ながら戦争とコロナの影に覆われた重苦しい幕開きとなりました。世界はリーダーのエゴに泣かされ前途洋々とはいかないようです。今年は今人類の英知を結集して、何とか活路を開き、光明を見出す年になればと願っています。

さて、飯塚文連はコロナまえのように戻りつつあります。昨年の事業の中止は研修旅行と文連パーティで、代替えに小出和典名誉会長を迎え、文化講演会を開催。飯塚総合文化祭は5会場揃っては3年ぶりの開催。第41回飯塚新人音楽コンクールも本選を有観客とし、盛会に終了しました。今年の第42回飯塚新人音楽コンクール予選は映像審査ではなく、実演方式に戻り、久しぶりに日本全国から若い音楽家が飯塚に集います。それに伴いボランティアの要請を行うことを決定。復活ラッシュになりそうです。

また、11月から12月にかけて嘉穂劇場再開に向けての支援募金を任意でお願いしましたが、団体個人総額846,500円を寄せていただきました。改めて飯塚文連加盟サークルの足跡を思い返すと、事あるごとに地域に寄り添い、暖かく力強い応援の数々は本当に有難く感謝の言葉もありません。

さて、今年の干支は「みづのと・う」「癸卯」となって音読では「キ・ボウ」です。暗い話ばかりの世情ですが、少しでも良い年になりますよう希望をもって進みましょう。

今年もどうぞよろしくお願ひ致します。

## 第8回飯塚総合文化祭

5会場揃っての開催は実に3年ぶりであった。  
昨年7月に行われた文化祭事業部会議で、庄内会場のみ予定されている日程での開催が厳しいとの話を受け、12月までの開催であれば文化祭としての事業とすることを承認。又、飯塚会場はコスモスコモンが大規模改修工事で使用できない為、飯塚コミュニティセンターと穎田・庄内・筑穂・穂波の4会場に参加できるように対応。コロナ対応策を講じて無事に終了した。2月に5会場の実行委員長を交えて文化祭事業部による各会場決算等の会議がもたれる。

### ●飯塚会場…10月15～11月13日 来場者数延 4,665名

- ・催しの部（コミュニティセンター）—茶道・俳句大会
- ・ステージの部（コミュニティセンター・穎田交流センター別館）—能楽・演劇
- ・展示の部（コミュニティセンター）—絵画・華道・図書館展

コスモスコモン改修工事のため参加団体が非常に少なく、本年度の飯塚会場は静かな文化祭であった。来年度の参加団体も締め切れ既に準備が進められている。

### 第47回劇団時の駅公演『占い喫茶ひだまり館へようこそ！』

今年は、コスモスコモンが使用できない為、穎田交流センター別館での公演となった。初めての講演会場で何度も下見に行き、職員との打ち合わせを重ね、本番を迎えることができた。

今回は占い喫茶で繰り広げられる二つの恋の物語を歌やダンスを交え、笑いあり涙ありのハートフルなオリジナルストーリーへのチャレンジ。コロナ禍の中での稽古は大変苦労を要したが、無事に満席のお客様に「時の駅」のステージをお届けすることができ安堵している。又、穎田交流センター別館の皆さまには暖かい対応をいただき、心よりお礼申し上げます。

劇団時の駅 代表 宮下治代



### ●穎田会場…10月30日 来場者数延 220名

- ・ステージの部（穎田交流センター別館）  
コーラス・フラダンス・箏曲・日舞・民踊・吟詠

コロナで3年ぶりの開催。飯塚会場からの参加で、フラダンスの出場もあり、たくさんの子供達の賑やかなステージが繰り広げられ、華やかさが加わった文化祭であった。感染対策等、心配もあったが大過なく終了。



### ●庄内会場…12月13日 来場者数約 50名

- ・ステージの部（庄内交流センター）3団体

全体会期とは遅れて3年ぶりの開催となった。今回10部構成で、ステージのみの開催であったが、来年は関係者のみでなく、多くの市民の来場を促したい。

## ●筑穂会場…11月12～11月13日 来場者数延 160名

- ・展示の部（筑穂交流センター）—書道・川柳・華道・絵画
- ・ステージの部（筑穂交流センター）—太鼓・詩吟・コーラス・三味線

3年ぶりの開催。初めて地域の絵画作品などの展示。またステージでは最後に参加団体全員で「みんなで歌おう！」と賑やかな声で幕を閉じた。楽しく盛り上がった文化祭であった。

## ●穂波会場…11月12日～13日 来場者数延 1,245名

- ・ステージの部（穂波交流センター）—太鼓・日舞・フラダンス・吟詠・カラオケ・ダンス・謡曲
- ・展示の部（穂波交流センター）—書道・写真・絵画・華道・保育所関係

昨年まで展示会場であった穂波体育館の使用を止めて、全て穂波交流センターでの開催になった。コロナ禍で茶道や飲食を伴う催しをすることができなかったのは残念であったが、飯塚会場からフラダンス2団体ダンス1団体が穂波会場に参加。来場者も多く盛会のうちに終えることができた。しかし、課題もみられ、来年に向けて検討を重ねていくこととした。



## 令和4年度第5回飯塚市美術展

本年度は全部門コミュニティセンターでの開催になった。会場が手狭で公募のみの展示しかできず、絵画、書道部門の賛助会員の出品を取り止める措置を講じた。



## 小出和典名誉会長 講演会 『宝の足跡 飯塚文連』

今年もまたコロナで研修旅行が中止となり、代替事業として小出和典名誉会長の講演会を企画。小出和典名誉会長は4年前に内閣府「エイジレス章」を受賞され、ますますお若くお元気で活動されています。

文連の創設から現在までの足跡を大変興味深くお話いただき、改めて文連の歴年多岐にわたる活動の意義を確認できました。

特に著名な方々との関りのエピソードや飯塚新人音楽コンクール創設のきっかけとなった「いいピアノを設ける運動」の内容は、当時の地域文化向上への並々ならぬエネルギーを感じ、大変感銘を受けた講演でありました。



## 令和4年度「福岡県地域文化功労者表彰」受賞

### 女声合唱団飯塚マミーコール

(令和4年12月17日 田川文化センターで表彰式)

女声合唱団飯塚マミーコールは1980年に発足し、筑豊地区合唱グループの中心的存在として活動し、長年にわたって芸術文化の振興に尽力してきた。特に飯塚新人音楽コンクールでは82年の第1回からボランティアとして参加し、コンクール運営の中心的な役割を担っていることが高く評価されての受賞となった。

「私たち合唱団は平均年齢が78歳で、35名中80代が18名が在籍し、高齢化していますが歌の力で皆さん元気をいただいています。地元の様々なイベントに参加して活動していますが、これからも飯塚新人音楽コンクールを地域の宝として応援し、この賞をいただいたことを励みにしてますます頑張っていきます!!」(飯塚マミーコール)



## 令和4年度「飯塚市市勢振興功労者表彰」受賞

### 緑川都子氏 (吟道優聖会代表)

(令和4年11月3日飯塚市役所で表彰式)

昭和56年旧市の飯塚文連に吟道優聖会代表として入会。全国的にも活動を広げ、若い世代特に高等学校への指導も重ね、幅広く地域文化への貢献が認められた。表彰式当日 受賞者を代表し「飯塚市の更なる発展のためには、行政と議会、そして我々市民がともに手を携え努力していくことが重要であり、今後も市勢の振興、発展と福祉の向上のため、尽くしてまいります。」と謝辞を述べられた。



# 嘉穂劇場再開支援募金ご報告

全国でも唯一の生きた木造歌舞伎小屋として貴重な郷土の文化財である嘉穂劇場。  
飯塚文化連盟は積極的に関わってきた歴史がある  
何とか嘉穂劇場再開の一助になればと文連加盟団体に任意での支援募金をお願いした。

**募金期間** 令和4年11月18日～12月23日

**募金総額** 846,500 円

上記の金額を令和5年2月1日に武井教育長を表敬訪問し手渡す予定。  
厳しい社会の現況の中、心苦しいお願いではありましたが、ご協力いただき本当に本当に  
ありがとうございました。

## おしらせ

- ◆ 研修旅行中止
- ◆ I LOVE 遠賀川——10月9日 事務局と企画事業部で参加
- ◆ 筑前の國街道まつり中止
- ◆ 2022文連パーティ中止
- ◆ 令和4年度第30回ふくおか県民文化祭2022地域別事業「やるばい筑豊」に  
飯塚文連より飯塚吹奏楽団が参加。  
12月18日田川文化センターで盛会にて終了。
- ◆ 福岡県文化団体連合会(県文連)創立30周年記念  
文化功労者表彰
  - ・紙野美寿江 氏
  - ・田中 彰 氏両名が、令和5年1月31日 創立30周年記念式典に於いて表彰。

## 箏曲 綾女会 加地社中代表 加地澄子氏 ご逝去 (令和4年9月21日)

永年箏曲の地域のリーダーとして、ご尽力いただきました。  
いつも優しく温かく見守り、支えていただき文連にとっても痛恨極まり  
ないことでした。ご生前の献身的なご貢献に感謝し、謹んで哀悼の意を  
表します。

